

テストは終わったあとが大事!?

みなさんは目の前に宝の山があったらどうしますか？

テスト後に返却された答案用紙は宝の山です。

学力を向上させる数々の宝が原石のまま眠っています。

テスト後の見直しが大事であることは知っていますよね。でも、ほとんどの人は間違えた問題をもう一度解き直して、それで終わりにしています。もちろんそれでも勉強した意味はあるのですが、「間違えた問題」ができるようになったからといって、「似たような問題」ができるようになっていたとは限りません。

ワンランク上の勉強をするためには、「間違えた原因」をはっきりとさせることが必要です。原因を知ることによって対策の方向性が見えてきます。次のようなフローチャートで考えてみましょう。

例) 2019年度4月道コン中1 数学

- 6** A 地点から B 地点まで一定の速さで進む、長さ 60m の「動く歩道」があります。はやとくんが、この「動く歩道」の上を、一定の速さで歩くと、A 地点から B 地点まで行くのに 30 秒かかりました。ある日、この歩道が止まっているときに、その上を歩いたところ、A 地点から B 地点まで行くのに 48 秒かかりました。

はやとくんの歩く速さはいつでも同じであるものとして、次の問いに答えなさい。



問2 「動く歩道」の上を歩かずに立ったまま乗っていると、A 地点から B 地点まで行くのに何秒かかりますか。

不正解だった場合

もう一度挑戦すると

解ける

解けない

なぜテストでできなかったか

なぜ解けないのか

時間が無かった

ミスをした

考え方が分からない

意味が分からない

↓
どうしたら時間を確保できるのか

↓
ミスを減らすにはどうしたらいいのか

↓
簡単な問題を利用して式の作り方を覚える

↓
教科書を参考にして用語など基本事項を調べる

問題の答えは 80 秒 です。不正解だった人は、なぜ間違えてしまったのか、上の図のように考えてみましょう。これは通称、「知恵の木」と呼ばれる樹形図です。条件を細かく区切ることで枝の数はどんどん増やすことができ、より具体的な対策方法を考えることができます。

テストは受けて終わりではありません。むしろテスト後に本当の意味での勉強が始まるのです。失敗には必ず原因があります。同じような過ちを繰り返さぬよう、しっかりと復習していきましょう！